

参 考 行政サービスの充実をめざして

(1)北九州市の先進的な施策・充実した施策

くらし・健康

●「赤ちゃんの駅」登録事業

外出中に授乳やオムツ替えなどで立ち寄ることができるような施設を「赤ちゃんの駅」として登録するものです。公共施設だけでなく、民間事業者と協力して事業を進めていくという本市独自の手法で充実に努めています。



●親子通園事業

直営保育所に親子通園クラスを設置し、発達が気になる子どもを保護者とともに受け入れ、保育所での親子遊びや行事参加などの体験、相談を通じて支援を行います。なお、平成22年度は、黒崎保育所で実施しています。

●多文化共生推進事業

「多文化共生」の推進を柱の一つとした新たな「国際政策推進大綱」を策定し、多様な文化的背景を持つ人々が地域社会の一員として暮らしやすい「多文化共生」のまちづくりを推進します。

環境・産業・経済

●環境モデル都市に選定

北九州市は、地球温暖化防止のために低炭素社会づくりを先駆的に進める国の「環境モデル都市」に選定されました。CO₂の大幅削減による地球温暖化問題の解決、豊かな暮らしや経済など都市活力の増大、アジアの低炭素化の推進により、いい未来を拓いていきます。このため、市民、産業界、行政等と一緒に策定した行動計画(グリーンフロンティアプラン)に基づき取組みを進め、北九州市から、国、そして世界へ低炭素社会を掲げます。



平成21年12月26日 中華人民共和国 習近平国家副主席、環境先進地である北九州市を視察。

●東アジア経済交流推進機構

北九州市が提唱した「環黄海经济圈构想」をもとに、黄海に面する日中韓3ヶ国10都市の行政と経済界(商工会議所)が一体となって、平成16年に「東アジア経済交流推進機構」を設立し、北九州市が事務局を務めています。

平成21年度からは10都市でおこなう観光・環境分野での共同プロジェクトを実施、また平成22年度から10都市間における経済交流をより一層加速させるため、貿易と投資を中心とするビジネス環境を改善する共同事業「環黄海アクション」を実施します。



●「八幡東田スマートコミュニティ構想」推進事業

太陽光などの再生可能エネルギーは、我が国のエネルギーセキュリティやCO₂の排出削減を進めるうえで重要なエネルギー源であり、今後一層の導入や効率的な活用が必要です。「北九州スマートコミュニティ創造事業」では、八幡東区東田地区において、太陽光・風力発電の導入、ITを活用したエネルギーの効率利用・交通等のシステムの構築など、まちづくり、ライフスタイルに関わる様々な実証を行い、低炭素社会の実現を目指します。

●中心市街地活性化基本計画の推進

北九州市では、平成20年7月、小倉・黒崎2地区の「中心市街地活性化基本計画」が、全国で初めて1つの都市で2つの地区の内閣総理大臣認定を受けました。

現在、この計画に基づき、両地区で設立された「中心市街地活性化協議会」を中心に、商工会議所、まちづくり団体、商店街など、様々な関係主体が一体となって、活性化に向けた取組みを進めています。

安全・安心

●バリアフリーのまちづくり

平成9年度より市民と行政が一体となって、歩道の拡幅や平坦化、視覚障害者誘導用ブロックの設置など、誰もが安心して歩くことのできる歩行空間の整備に取り組んでおり、主要駅周辺における主要経路のバリアフリー化率は、政令市で1位(平成18年度末)となっています。また、全国の先駆けである小倉都心地区の取組みは、国の基準や交通バリアフリー法などのモデルにもなりました。

●救急搬送体制の充実・強化

救急隊員に対する教育訓練の向上を図り、迅速な搬送体制の維持に努めています。その結果、救急車の出動から医療機関到着までの時間は18大都市(17政令市+東京都)の平均30.3分に対し、本市は23.3分となっています。また、受入れ手配が3回以内で99%完了するなど、スムーズな病院受入体制がとられています。

文化・スポーツ

●北九州フィルム・コミッション

北九州市では、日本で最も早く(平成元年)から映画やテレビドラマ、旅番組などの撮影誘致・支援事業に取り組んできました。平成12年には、この活動をさらに強化するため、フィルム・コミッション組織を設立するなど、映像を通じた本市のイメージアップに積極的に取り組んでいます。

(誘致した例)「海猿」、「デスノート」、「東京タワー」、「K-20 怪人二十面相・伝」、「おっぴいバレー」など

●北九州チャンピオンズカップ 国際車椅子バスケットボール大会

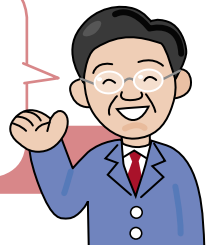
平成14年に北九州市で開催された世界車椅子バスケットボール選手権大会「北九州ゴールドカップ」を記念して毎年開催している大会です。世界各地のクラブチャンピオンチームを招待して行う、世界で唯一の、車椅子バスケットボールクラブチーム世界一決定戦です。



(2)北九州市の最近の受賞歴

暮らし・子育て

北九州市の活動は、さまざまな分野で高い評価をいただいています。



●「次世代育成環境ランキング」5年連続で政令市1位(平成17～21年度)

「NPO 法人エガリテ大手前」主催の標記ランキングにおいて、出産環境、乳幼児保育、児童福祉、母子福祉、小児医療など、幅広い観点から次世代育成に優れた環境を提供している都市として、5年連続で政令市第1位を獲得しました。

●「仕事と生活の調和推進宣言都市」に選定(平成21年度)

北九州市は、平成21年に国の「仕事と生活の調和推進宣言都市」に選定されました。平成20年12月に設立した「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心に、企業、働く人、市民とともに協働してワーク・ライフ・バランス推進の取組みを進めています。

環境

●「日本の環境首都コンテスト」2年連続で総合1位(平成18・19年度)

「環境首都コンテスト全国ネットワーク」(全国の12環境団体が構成)主催の標記コンテストで、平成19年度参加66自治体(平成18年度は74自治体)中、2年連続で総合第1位を獲得しました。



●「日本水大賞」審査部会特別賞(平成20年度)

ホテルをシンボルとしたまちづくり、国際的な展開など、本市の先駆的・ユニークな水環境保全への取組みが高い評価を受け、社団法人「日本河川協会」から特別賞が贈られました。

文化・芸術

●「菊池寛賞」(平成20年度)

松本清張記念館が、水準の高い研究誌を発行しつつ、多彩な企画展を催すなど健闘しながら開館10周年を迎えたことに対して、日本文学振興会から賞が贈られました。

●「全国広報コンクール 映像部門」総務大臣賞・読売新聞社賞(平成20年度)

市政テレビ番組「認知症～この青空を忘れない～」が、日本広報協会主催の標記コンクールで、映像部門のトップの特選にあたる「総務大臣賞」と、特に住民の視点を大切にした作品に贈られる「読売新聞社賞」をあわせて受賞しました。

●「JAFRAアワード(総務大臣賞)」(平成20年度)

北九州芸術劇場の総合的な演劇プログラムに対し、地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績があったとして、財団法人地域創造から「JAFRAアワード(総務大臣賞)」が贈られました。

産業・学術

●「第3回 産業観光まちづくり大賞 金賞」(平成21年度)

北九州市は、「工業都市」・「環境都市」の特性を活かし「産業」・「環境」を観光振興の一つの素材として考え、民間企業の協力のもと、「産業観光」に積極的に取り組んできました。このことが評価され、全国産業観光推進協議会(社団法人 日本観光協会)が主催する「第3回 産業観光まちづくり大賞」において、最高賞である金賞を受賞しました。

●「北九州市立大学の地域貢献」4年連続で全国上位にランクイン(平成21年度)

日本経済新聞社が平成18年度から実施している、全国の国・公・私立大学の地域貢献度ランキング調査において、北九州市立大学は、平成20年度の1位に続き、平成21年度も2位に選ばれました(ベスト10入りは4年連続)。市民を対象にした公開講座の実施、産学官による連携大学院の開設、地域のNPO団体等と連携して学生も参加する各種事業の実施など、住民や行政などとの連携への取組みが全国的に高い評価を得ています。

人権啓発

●「人権啓発資料法務大臣表彰」最優秀賞(平成21年度)

本市が平成20年度に制作した人権啓発アニメーション「声を聞かせて」が、全国の地方公共団体が作成した人権啓発資料約1,800点の中から、最優秀賞を受賞しました。

本作品は、このほかに「2009年優秀映像教材選奨」映画の部最優秀作品賞(財団法人日本視聴覚教育協会主催)を受賞しています。

土木・建築・まちづくり

●「第8回 日本鉄道賞 日本鉄道賞表彰選考委員会による特別表彰 廃線文化観光賞」(平成21年度)

門司港レトロ観光列車事業について、運行を取り止めた貨物線施設の再活用や他の鉄道事業者で使用された車両のリユースなどにより少ない投資で観光トロッコ列車の運行を実現し、門司港レトロ地区などの観光振興に大きく貢献したことが評価を受けました。

●「手づくり郷土賞」(国土交通大臣賞)(平成20年度)

「板櫃川水辺の楽校」(八幡東区高見)について、都市の中の良好な水辺空間整備とそれを活用した地域活動などの取組みが評価され、地域団体(水辺の楽校の会)と本市が共同で受賞(平成20年度は九州で1件、全国で15件が受賞)しました。



国際交流・協力

●「姉妹自治体交流表彰」総務大臣賞(平成21年度)

環黄海圏の10都市が加盟し、北九州市が事務局を務めている「東アジア経済交流推進機構」の活動が、姉妹友好都市連携に基づく創意と工夫に富んだ取組みとして、総務省及び(財)自治体国際化協会から表彰を受けました。

●「大連市星海友誼賞」(平成15・16・18・20・21年度)

深刻な水問題を抱える中国・大連市からの技術協力要請に基づき、研修生の受入れと本市水道局職員の派遣を実施し、安全・安定給水の向上に取り組んだ功績が評価され、大連市から賞が贈られました。

●「循環のみち下水道賞」特別部門 国土交通大臣賞(平成20年度)

アジア地域の国々に向けた、下水道分野における国際技術協力の取組み(8カ国・28回・延べ39名の職員派遣と、82カ国・87回・690名の研修生受け入れ[平成20年12月時点])が高い評価を受けました。

これからもさまざまな分野でサービスの向上に努力していきます。



市有地をお売りします

土地をお探しのあなたへ、北九州市が市有地（市の所有している土地）をお売りします。購入は個人・法人を問いません。住宅・事業用地・店舗・駐車場など幅広くご利用いただけます。（売却収入は市の財源に充てられます）

もっとくわしく知りたい方は、年3回（春・秋・冬）発行の『市有地購入情報』をチェック！（各区役所、出張所、市民センター等で配布）ホームページでも、くわしい情報を紹介しています。

〈お問合せ先〉

北九州市財政局 財務部 財産活用推進課（市役所本庁舎6階）

TEL 093-582-2007

ホームページ <http://www.city.kitakyushu.jp/page/zai/uriharai/>

平成22年度 市税納期一覧表

4月	5月	6月	7月	8月	10月	12月	1月	2月
固定資産税 17日～30日 (第1期)	軽自動車税(定期) 1日～31日	市・県民税(第1期) 17日～30日	固定資産税 17日～8月2日 (第2期)	市・県民税(第2期) 17日～31日	市・県民税(第3期) 17日～11月1日	固定資産税(第3期) 17日～28日	市・県民税(第4期) 17日～31日	固定資産税(第4期) 17日～28日

はいつてますか **口座振替**

市税の納付は、
安心・便利・確実な口座振替をご利用ください。

〈お問合せ先〉

北九州市財政局 税務部 税制課（市役所本庁舎6階） **TEL 093-582-2030**